

**令和6年度
学校推薦型選抜
文化学科
〔言語文化系／地域文化創造系〕
小論文
問題・出題の意図・採点評価基準**

令和5年11月18日

高知県立大学

問 次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

（配点：200点）

著作権者から公衆送信の許諾を得ていない為著作物の引用部分のみ削除して提供します。

著作権者から公衆送信の許諾を得ていない為著作物の引用部分のみ削除して提供します。

出典：山本理顕・仲俊治『脱住宅 「小さな経済圏」を設計する』平凡社、2018年
（出題の都合上、出典の文章の一部を省略・改変した。）

問1 下線部(1)「小さな経済」とは、どのような活動か。本文に即して、200字以内の日本語でまとめなさい。

(配点 100点)

問2 下線部(2)「住宅や集合住宅はプライバシー至上主義の施設として計画されるのではなく、開かれた生活環境として整備されることが要請されている」とあるが、要請されている住宅とはどのような住宅か。その住宅は「小さな経済」の実現のためにどのような効果をもたらすのか、具体的な住宅の例を挙げ、あなたの考えを400字以内の日本語で述べなさい。

(配点 100点)

<出題の意図>

問1 「小さな経済」について書かれた課題文を読み、内容を正確に読み取ることができているかどうかを見る。

問2 具体的な例を挙げながら、問いに対して自分の考えを論理的に記述する能力を見る。

<採点評価基準>

問1 次の点を見て評価する。

(1) 「小さな経済」とはどのような活動かについて、本文に即して正確に理解することができているか(読解力)。

(2) 課題文の内容を、適切な文章で表現できているか(文章表現力)。

問2 次の点を見て評価する。

(1) 課題文の理解に基づいて、論述できているか(読解力、課題に対する基礎的知識)。

(2) 「小さな経済」と住宅の関係について、自らの考えを論理的かつ的確に表現することができているか(論理的思考力、文章表現力)。